

[、]長崎南山小学校[、] 学校生活だより 令和4年3月号 担当(山田) NO.109

"いのち"について

先週の金曜日3月11日に,長崎教区の司祭で純 心大学の教授でもある古巣薫神父様が卒業する6年 生に向けて「ひかりにうたれて花がさいた」という 演題で講話をしてくださいました。ご自身が体験さ れた東日本大震災の話,小学生時代の恩師の話,ア ンパンマンの話などに6年生は食い入るように聞き

入り, あっと いう間に1時 間が過ぎてし まいました。 わたしたちは 何のために生 きているのか,



命がどれほど大切なものか、人のために生きること ってどんなことなのかなどについて学ぶことができ た6年生は、これからの生き方に大きなヒントを得 たことだろうと思います。

神父様のお話に出てきたある親子の話,特にその 小学生の作文は、「いのち」「人を赦す」ことにつ いて改めて黙想することができるのではないかと思 います。ご紹介します。

上五島のある小学生の作文

お母さんは、その日もお父さんとお姉ちゃんと ぼくと弟に弁当を持たせて,

「忘れ物はない,大丈夫ね,じゃあ今日も元気で行 ってらっしゃい。」

って、朝からいつものように元気に送り出してく れました。

ぼくが学校で弁当を食べ終わって, みんなと遊 んでいた時, 先生が慌ててぼくを呼びに来ました。 「玄関にお父さんが待っているから急いで行きな さい。」

玄関に行ったらすでに弟もいて, 車の中にはお姉 ちゃんもいました。お父さんは、ぼくと弟の背中を 押して,車に乗り込ませると,だまったまんま病院 に向かいました。病院に着いたら集中治療室と書 いた部屋に連れて行かれ, 顔に白い布をかけられ た人の前に立ちました。すると、お父さんが、

「お母さんは交通事故で死んだよ。」

と言うと、白い布を取って、お母さんの顔をなでな がら病院中に聞こえるくらい大きな声を上げて泣 きました。お姉ちゃんもぼくも弟も何が起こったの |か分かりませんでした。でも、お母さんは何回呼ん でも, ゆすってもゆすっても起きませんでした。そ のうち、冷たくなっていきました。

お母さんは、ぼくたちを見送った後、掃除と洗濯 をして、車でパートに出かけました。でも脇道から 急に飛び出してきた車に衝突され,あっという間に 死んだんです。四十三才でした。お姉ちゃんもぼく も弟も息ができないくらい泣きました。ぼくは神様 を信じていますが、どうして神様はこんな悲しいこ とを黙って見ているのか、神様なんかいないって思 うくらい苦しくなりました。

でも, 二日後, お葬式の時, お父さんは, お祈り に来てくれたみんなに, こんなあいさつをしまし

「人生は思い通りにいかないということはこの年 になれば私なりにいくらか分かっていたつもりで した。でも、私はどこも怪我していないのに、本当 の苦しみはこんなにつらく息が止まるくらい痛い ものだとは知りませんでした。魂も体も引きちぎら れたような思いです。突然母親がいなくなった三人 の子どもたちも同じです。これから私はどのように |生きていったらいいのか,これから三人の子どもた ちをどのように育てていったらいいのか,今は全く 分かりません。でも私どもはふつつかながら神様を 信じているカトリック信者です。復活を信じていま す。死んだからといって妻の命が終わったとは思っ ていません。子どもたちには、これからも母も父も いる家族なんです。これが、私どもの信じている教 えです。私どもも、どうしようもなくつらいですが、 突然の事故で妻を死なせた加害者の方はもっとつ らかろうと思います。わざとしたわけではありませ ん。その時を避けきれなかったんです。これから, 私ども親子を見る度に, あの道を通る度に, ずうっ と悲しい顔で生きていくと思います。どうか加害者 とその家族の方々が一日も早く元気になって,いつ もの生活を取り戻すことができますように。それが 先に復活の命に入った妻の願いであり、残された私 ども親子の願いでもあります。私どもは、どんなに つらいことがあっても,ひねくれず,くさらないで 生きるように教えられてきましたから。」

時々涙声で,お父さんはこんなあいさつをしまし た。悲しくて, さびしくて, 苦しいけど, ぼくもお 父さんと同じ気持ちです。お母さんを死なせた人を うらみません。

命命 教室紹介命命

1年1組 担任 宗 ゆかり 先生

元気いっぱいで、何でも楽しそうに挑戦する 子どもたちです。そして、よく笑います。今は、 一年間お世話をしてくれた6年生に感謝の気持 ちを表すために、折り紙で作った花や手裏剣な どのプレゼント作りに夢中です。生活科では、新 しい1年生を迎える計画も立てており、お兄さ ん・お姉さんになる準備も進めています。

チャイムの合図を守ること、給食当番や係のがんばっています。 仕事を最後までやり遂げること, 日直のスピー チを堂々と発表すること、4月の初めにできな かったことも、今では当たり前のようにできま す。できることがいっぱい増えて大きく成長し た1年間でした。

がんばってきた1年間。宗先生は,2年生になっ てからも、大好きなことをたくさん見つけ、自信 をもって楽しく過ごして欲しいと願っていま

命命 教室紹介命命

1年2組 担任 溝上 桃子 先生

みんなで遊ぶ, みんなで勉強する, みんなでお 祈りをする, みんなで掃除をする, とにかくみん | なと一緒に活動することが大好きな1年2組の 子どもたちです。もうすぐ卒業する6年生とお 別れするのを寂しく感じている子どもたちです が、手紙を書いたりプレゼントを準備したりし て、大好きな6年生に感謝の気持ちを表そうと

新しい1年生にアサガオの種をプレゼントし ようとお迎えする準備も進めており、2年生に 進級することを楽しみにしています。

最近は、「だるまさんが転んだ」「王さま、だあ れ」「おにごっこ」など、みんな遊びが以前にも 「おいのり大すき, べんきょう大すき, ともだ│増して多くなってきています。1年2組で過ご ち大すき、大すきいっぱい一年生」を目標にして□せる残り少ない日々を大切にしようという気持 | ちが表れているようです。

> 1年2組での楽しい思い出をいっぱい作っ て、立派な2年生になって欲しいなと溝上先生 は願っています。





♪忘れないで

- 1. 忘れないで いつもイエスさまは 君のことを 見つめている だからいつも 絶やさないで ふきけすでしょう 胸の中の ほほえみを
- 2. だけどいつか はげしい嵐が 君のほほえみ 胸の中の みことばを
- 3. 忘れないで 悲しみの夜は 希望の明日に 変わることを だからすぐに 取り戻して だからいつも 離さないで いつもの君の ほほえみを